

2006年3月期  
決算説明資料

2006年5月9日

旭化成株式会社

## 1. 2006年3月期実績

主要決算数値	P4～P5
連結損益計算書	P6
連結貸借対照表	P7
連結キャッシュ・フロー計算書	P8
設備投資額、減価償却費、研究開発費	
金融収支・有利子負債残高	P9
特別損益	P10
セグメント別売上高・営業利益	P11～P14

## 2. 2007年3月期業績予想

当期の業績予想	P16
セグメント別売上高・営業利益	P17～P19

## 3. 参考資料

セグメント別概況	P21～P28
セグメント別設備投資額、 減価償却費、研究開発費	P29～P30
主要関係会社概況	P31
ファーマ参考資料	P32～P34
ホームズ参考資料	P35～P38

# 1. 2006年3月期実績

# 主要決算数値(1)

	05/3	06/3	
	a	実績 b	前回予想 c
売上高	13,777 億円	14,986 億円	15,000 億円
営業利益	1,158	1,087	1,050
(営業利益)*	( 956 )	( 1,047 )	( 1,010 )
経常利益	1,129	1,042	1,030
当期純利益	565	597	590

対前年度 (b-a)		対前回予想 (b-c)	
増減額	増減率	増減額	増減率
1,209 億円	8.8 %	-14 億円	-0.1 %
-71	-6.1	37	3.5
( 91 )	( 9.5 )	( 37 )	( 3.7 )
-87	-7.7	12	1.2
32	5.7	7	1.2

\* ( ) は数理計算上の差異償却前の実質利益

	05/3	06/3
総資産	12,701 億円	13,760 億円
株主資本	5,117	5,942
有利子負債残高	2,488	2,358
D/Eレシオ	0.49	0.40

増減
1,060 億円
825
-130

## 主要決算数値(2)

	05/3	06/3
一株当たり年間配当金	8 円	10 円
一株当たり当期利益(EPS)	40.16 円	42.46 円
総資産利益率(ROA)	4.5 %	4.5 %
株主資本利益率(ROE)	11.7 %	10.8 %
一株当たり純資産(BPS)	365.43 円	424.34 円

### <連結対象範囲>

連結子会社数	106	105
持分法適用会社数	53	55

ナフサ価格(国産ナフサ:¥/kl)	32,150	42,350
為替レート(相場平均:¥/US\$)	108	113

期末人員	23,820 人	23,030 人
------	----------	----------

# 連結損益計算書

AsahiKASEI

(上段:利益率、% 下段:金額、単位億円)

	05/3	06/3	増減	増減率(%)
売上高	100.0% 13,777	100.0% 14,986	1,209	8.8
売上原価	73.4% 10,105	75.2% 11,275	1,170	11.6
販管費	18.2% 2,514	17.5% 2,624	110	4.4
営業利益	8.4% 1,158	7.3% 1,087	-71	-6.1
営業外損益 (内、金融収支)	-29 ( -15 )	-46 ( -11 )	-16 ( 4 )	
(内、持分法投資損益)	( 26 )	( 5 )	( -21 )	
経常利益	8.2% 1,129	7.0% 1,042	-87	-7.7
特別損益	-217	-97	121	
税前利益	6.6% 911	6.3% 945	33	3.7
法人税等	-340	-345	-5	
少数株主損益	-7	-3	4	
当期純利益	4.1% 565	4.0% 597	32	5.7

# 連結貸借対照表

(億円)

	05/3	06/3	増減		05/3	06/3	増減
流動資産	5,897	6,442	545	負債	7,520	7,749	229
現金及び預金	683	864	181	流動負債	4,030	4,397	367
受取手形及び売掛金	2,522	2,695	173	固定負債	3,490	3,352	-138
棚卸資産	2,025	2,141	115	少数株主持分	64	69	6
その他	667	742	75	資本	5,117	5,942	825
固定資産	6,803	7,319	515	資本金	1,034	1,034	-
有形固定資産	4,200	4,144	-56	資本剰余金	794	794	0
無形固定資産	364	331	-33	利益剰余金	2,956	3,425	469
投資その他の資産	2,240	2,844	604	その他有価証券評価差額金等	503	863	360
				自己株式	-170	-173	-3
資産合計	12,701	13,760	1,060	負債・少持・資本合計	12,701	13,760	1,060

# 連結キャッシュ・フロー計算書、 設備投資額、減価償却費、研究開発費

(億円)

	05/3	06/3
営業活動によるキャッシュ・フロー①	983	1,086
投資活動によるキャッシュ・フロー②	-628	-604
フリーキャッシュ・フロー③(①+②)	355	482
財務活動によるキャッシュ・フロー④	-396	-309
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	1	4
現金及び現金同等物の増減額⑥(③+④+⑤)	-40	178
現金及び現金同等物の期首残高⑦	709	685
非連結子会社の連結化に伴う増加額⑧	15	1
現金及び現金同等物の期末残高(⑥+⑦+⑧)	685	864

## (2) 設備投資額、減価償却費、研究開発費

(億円)

	05/3	06/3
設備投資額(有形)	621	591
設備投資額(無形)	64	72
減価償却費	715	694
研究開発費	507	515



# 金融収支・有利子負債残高

## (1) 金融収支

(億円)

	05/3	06/3	増減
支払利息	-36	-36	1
受取利息	3	4	1
受取配当金	20	22	3
債権売却損等	-1	-2	0
合計	-15	-11	4

## (2) 有利子負債残高

(億円)

	05/3	06/3	増減
短期借入金	314	562	249
長期借入金	792	723	-69
社債	1,380	1,070	-310
割引手形	2	3	1
合計	2,488	2,358	-130

# 特別損益

(億円)

	05/3	06/3	増減
投資有価証券売却益	34	-	-34
固定資産売却益	10	57	47
貸倒引当金戻入益	4	2	-2
特別利益	48	59	11
投資有価証券売却損	-	9	9
投資有価証券評価損	4	7	3
固定資産処分損	86	70	-15
訴訟和解金	26	-	-26
減損損失	-	38	38
構造改善費用	149	32	-118
特別損失	265	156	-110
特別損益	-217	-97	121

# セグメント別売上高・営業利益<sup>注1)</sup>(1)(対前年度比)

(億円)

	売上高			営業利益 (実質ベース)		
	05/3	06/3	増減	05/3	06/3	増減
ケミカルズ <small>注2)</small>	5,702	6,604	902	<small>58</small> 320	<small>15</small> 390	<small>-43</small> 70
ホームズ	3,758	4,045	288	<small>34</small> 256	<small>12</small> 270	<small>-22</small> 14
ファーマ	1,039	1,058	19	<small>24</small> 110	<small>2</small> 108	<small>-21</small> -2
せんい <small>注2)</small>	915	897	-18	<small>19</small> 64	<small>6</small> 34	<small>-13</small> -30
エレクトロニクス	930	1,029	98	<small>11</small> 165	<small>-0</small> 193	<small>-11</small> 29
建材	599	565	-34	<small>15</small> 11	<small>0</small> 38	<small>-15</small> 27
ライフ&リビング	591	519	-72	<small>9</small> 52	<small>2</small> 46	<small>-6</small> -6
サービス・エンジニアリング等	242	268	26	<small>-</small> 36	<small>-</small> 33	<small>-</small> -3
消去又は全社	-	-	-	<small>33</small> -58	<small>3</small> -66	<small>-30</small> -8
合計	13,777	14,986	1,209	<small>202</small> 956	<small>40</small> 1,047	<small>-162</small> 91

注1) 連結営業利益は数理計算上の差異償却額を除いた実質利益  
 営業利益の枠左上の数字は数理計算上の差異償却額(外数)

注2) ケミカルズ及びせんいの05年3月期の売上高及び営業利益は、05年4月よりレオナ繊維事業を旭化成せんいから旭化成ケミカルズへ移管したことに伴い、当該事業の売上高、営業損益を組み替えた後の金額。

# セグメント別売上高・営業利益(2)(海外売上高)

(億円)

	05/3			06/3			増減	
	売上高	海外売上高		売上高	海外売上高		海外売上高	
		金額	比率(%)		金額	比率(%)	金額	伸び率(%)
ケミカルズ 注1)	5,702	2,279	40.0	6,604	2,818	42.7	539	23.6
ホームズ	3,758	-	-	4,045	-	-	-	-
ファーマ	1,039	200	19.3	1,058	217	20.5	17	8.3
せんい 注1)	915	224	24.4	897	233	26.0	10	4.4
エレクトロニクス	930	344	37.0	1,029	392	38.1	47	13.7
建材	599	-	-	565	-	-	-	-
ライフ&リビング	591	43	7.3	519	49	9.4	6	13.7
サービス・エンジニアリング等	242	8	3.2	268	23	8.4	15	191.5
合計	13,777	3,098	22.5	14,986	3,732	24.9	634	20.5
東アジア地域への売上高 注2)		1,870	13.6		2,224	14.8	354	18.9

<参考>

ホームズ・建材を除いた売上高 9,420 3,098 32.9 10,376 3,732 36.0

注1)ケミカルズ及びせんいの05年3月期の売上高は、05年4月よりレオナ繊維事業を旭化成せんいから旭化成ケミカルズへ移管したことに伴い、当該事業の売上高を組み替えた後の金額。

注2)中国(香港を含む)、韓国、台湾

# セグメント別売上高増減要因(年間)

(億円)

	05/3	06/3	数量差	売値差		その他差	計
					うち為替因		
ケミカルズ <sup>注)</sup>	5,702	6,604	397	323	99	182	902
ホームズ	3,758	4,045	15	139	-	134	288
ファーマ	1,039	1,058	32	-14	3	1	19
せんい <sup>注)</sup>	915	897	2	-9	3	-11	-18
エレクトロニクス	930	1,029	121	-23	11	0	98
建材	599	565	8	16	-	-57	-34
ライフ&リビング	591	519	2	2	0	-76	-72
サービス・エンジニアリング等	242	268	58	0	0	-32	26
合計	13,777	14,986	635	433	116	142	1,209

注)ケミカルズ及びせんいの05年3月期の売上高は、05年4月よりレオナ繊維事業を旭化成せんいから旭化成ケミカルズへ移管したことに伴い、当該事業の売上高を組み替えた後の金額。

# セグメント別営業利益増減要因(年間)<sup>注1)</sup> AsahiKASEI

(億円)

	営業利益 (実質ベース)		数量差	売値差	うち為替因	その他差	小計	数理計算上 差異償却額	計
	05/3	06/3							
ケミカルズ <sup>注2)</sup>	320	390	88	323	99	-341	70	-43	27
ホームズ	256	270	5	139	-	-130	14	-22	-8
ファーマ	110	108	23	-14	3	-11	-2	-21	-23
せんい <sup>注2)</sup>	64	34	1	-9	3	-21	-30	-13	-43
エレクトロニクス	165	193	51	-23	11	1	29	-11	17
建材	11	38	7	16	-	4	27	-15	12
ライフ&リビング	52	46	1	2	0	-9	-6	-6	-12
サービス・エンジニアリング等	36	33	7	0	0	-9	-3	-	-3
消去又は全社	-58	-66	-	-	-	-8	-8	-30	-39
合計	956	1,047	183	433	116	-525	91	-162	-71

注1) 数理計算上の差異償却前の実質営業利益

注2) ケミカルズ及びせんいの05年3月期の営業利益は、05年4月よりレオナ繊維事業を旭化成せんいから旭化成ケミカルズへ移管したことに伴い、当該事業の営業損益を組み替えた後の金額。

## 2. 2007年3月期業績予想

# 当期の業績予想

(億円)

	05/3	06/3			07/3(予)			増減 b-a	Growth Action - 2010 09/3目標
		上	下	計a	上	下	計b		
売上高	13,777	7,185	7,802	14,986	7,550	8,480	16,030	1,044	16,500
営業利益	1,158	475	613	1,087	430	670	1,100	13	1,250
(内、数理計算上の差異償却額)*	(202)	(24)	(16)	(40)	(13)	(12)	(25)	(-16)	
経常利益	1,129	472	569	1,042	415	655	1,070	28	
当期純利益	565	254	343	597	240	380	620	23	650

\* 数理計算上の差異の費用処理方法の変更について

従来、退職給付会計における数理計算上の差異をその発生の翌年度に1年間で費用処理してきたが、06年3月期以降に発生する数理計算上の差異については、10年の定額法によりそれぞれ発生の翌年度から費用処理する方法に変更することとした。

ナフサ価格(国産ナフサ¥/kl)	32,150	38,000	46,700	42,350	50,000	50,000	50,000	7,650
為替レート(相場平均¥/\$)	108	110	117	113	110	110	110	-3

	05/3	06/3	07/3
1株当たり年間配当金	8円	10円	11円 (予定)



# セグメント別売上高

(億円)

	06/3			07/3(予)			増減 b-a
	上	下	計a	上	下	計b	
ケミカルズ	3,188	3,416	6,604	3,530	3,620	7,150	546
ホームズ	1,853	2,192	4,045	1,690	2,460	4,150	105
ファーマ	536	523	1,058	530	550	1,080	21
せんい	435	462	897	500	580	1,080	183
エレクトロニクス	487	541	1,029	570	580	1,150	121
建材	284	281	565	290	300	590	25
ライフ&リビング	267	252	519	270	270	540	21
サービス・エンジニアリング等	134	134	268	170	120	290	22
合 計	7,185	7,802	14,986	7,550	8,480	16,030	1,044

# セグメント別営業利益

(億円)

	06/3			07/3(予)			増減 b-a
	上	下	計a	上	下	計b	
ケミカルズ	202	203	405	165	205	370	-35
ホームズ	84	198	282	75	255	330	48
ファーマ	56	55	111	45	55	100	-11
せんい	23	17	40	15	25	40	0
エレクトロニクス	84	110	193	105	105	210	17
建材	18	20	38	20	20	40	2
ライフ&リビング	25	23	48	20	25	45	-3
サービス・エンジニアリング等	13	20	33	20	15	35	2
消去又は全社	-30	-33	-63	-35	-35	-70	-7
合 計	475	613	1,087	430	670	1,100	13

# <参考>セグメント別営業利益<sup>注)</sup>(実質ベース)AsahiKASEI

(億円)

	06/3			07/3(予)			増減	
	上	下	計a	上	下	計b	b-a	
ケミカルズ	9 193	6 197	15 390	4 161	4 201	8 362	-7	-28
ホームズ	6 78	6 193	12 270	2 73	2 253	4 326	-8	56
ファーマ	1 55	1 54	2 108	2 43	2 53	4 97	1	-12
せんい	3 19	3 15	6 34	1 14	1 24	3 37	-3	3
エレクトロニクス	0 83	-0 110	-0 193	1 105	1 104	1 209	1	15
建材	0 18	0 20	0 38	1 19	1 19	2 38	1	1
ライフ&リビング	1 24	1 22	2 46	1 19	1 24	1 44	-1	-2
サービス・エンジニアリング等	- 13	- 20	- 33	- 20	- 15	- 35	-	2
消去又は全社	1 -32	1 -35	3 -66	1 -36	1 -36	3 -73	0	-7
合計	24 451	16 596	40 1,047	13 417	12 658	25 1,075	-16	28

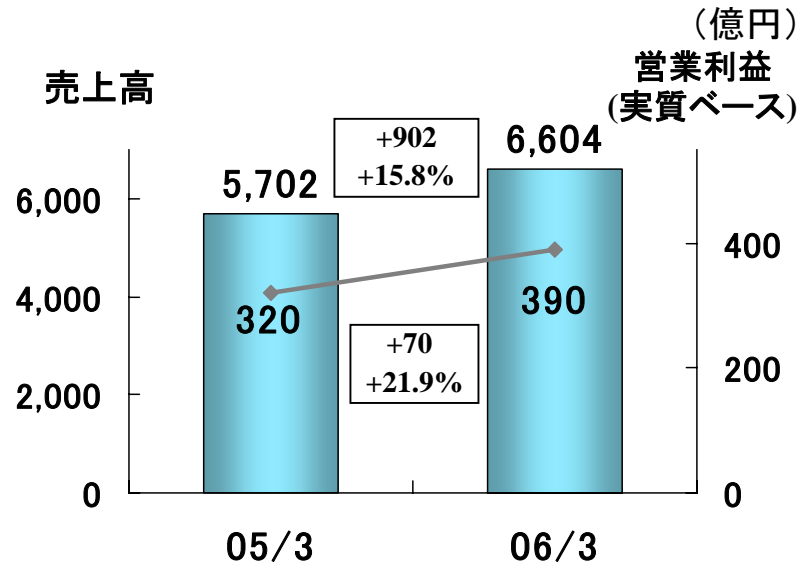
注) 数理計算上の差異償却額を除いた実質営業利益  
営業利益の枠左上の数字は数理計算上の差異償却額(外数)

\* 数理計算上の差異の費用処理方法の変更について

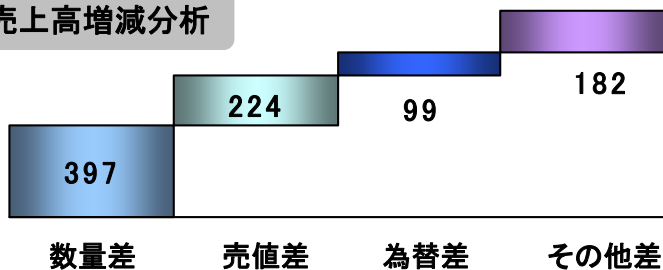
従来、退職給付会計における数理計算上の差異をその発生の翌年度に1年間で費用処理してきたが、06年3月期以降に発生する数理計算上の差異については、10年の定額法によりそれぞれ発生の翌年度から費用処理する方法に変更することとした。

# 3. 参考資料

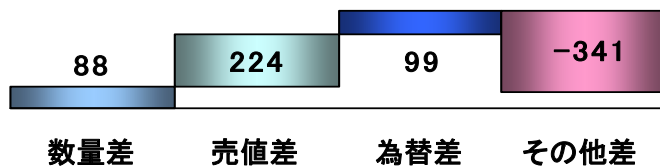
# ケミカルズ概況(1)



## 売上高増減分析



## 営業利益増減分析



## <概況>

原燃料価格高騰の影響を強く受けたものの、高付加価値系事業の増販、ライセンス収入の増などにより、前期比増収・増益となった。

### ・汎用事業

海外需要が堅調に推移したものの、原燃料価格高騰の影響を強く受け、前期比減益となった。

#### <モノマー系事業>

アクリロニトリルやスチレンモノマーが原燃料価格高騰の影響を受け、前期比減益となった。

#### <ポリマー系事業>

変性PPE樹脂などのエンジニアリング樹脂が市況改善に努め、前期比増益となった。

### ・高付加価値系事業

リチウムイオン2次電池用微多孔膜「ハイポア™」の販売、中国向けを中心とするイオン交換膜法食塩電解システムの販売、既存顧客向けイオン交換膜および更新部品の販売が好調に推移し、前期比増益となった。

# ケミカルズ概況(2)

高付加価値系事業の業績

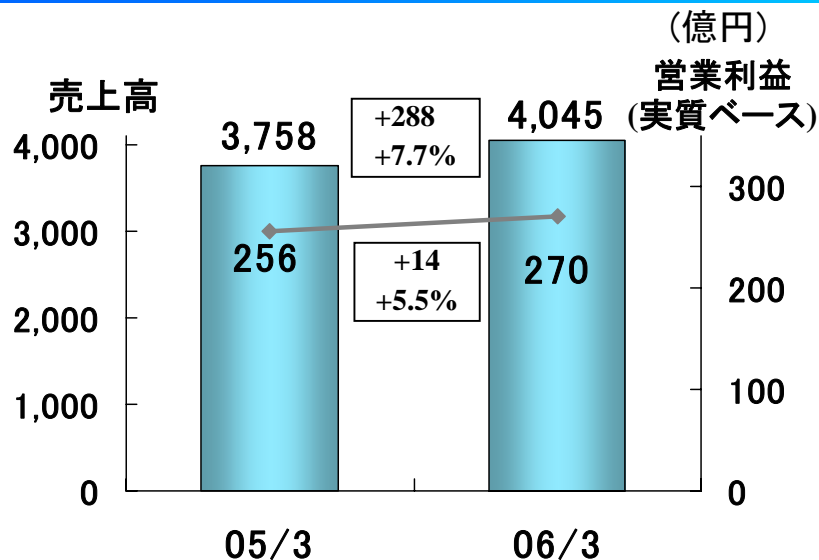
(億円)

	05/3		06/3	
	売上高	営業利益 (実質ベース)	売上高	営業利益 (実質ベース)
ケミカルズ計	5,702	320	6,604	390
内、高付加価値系事業	965	152	1,072	191

※上記高付加価値系事業の業績数値は参考情報として簡便計算で算出したものです。

## <トピックス>

- ・精密ろ過膜「マイクロザ<sup>TM</sup>」製造設備の生産能力増強。(4月着工、11月完工)  
中国の排水処理設備(8月)、シンガポール最大の水処理設備(12月)での採用決定。
- ・リチウムイオン2次電池用微多孔膜「ハイポア<sup>TM</sup>」製造設備の能力増強。(4月着工、06/8月完工予定)
- ・オメガプラント新設によるプロピレン生産能力増強。(04/11月着工、06/3月完工)
- ・アルファプラント増強によるベンゼン生産能力増強。(5月着工、06/4月完工)
- ・HDI系ポリイソシアネート「デュラネート<sup>TM</sup>」製造設備の中国での新設を決定。(11月)
- ・中国企業へのシクロヘキサノール製造技術の供与決定。(11月)
- ・液晶テレビ用拡散板製造設備の韓国での新設を決定。(1月)
- ・イオン交換膜法食塩電解プロセスの累積受注1,000万t達成。(1月)
- ・非ホスゲン法ポリカーボネート樹脂製造技術で大河内記念賞受賞。(2月)
- ・タイPTT社とのアクリロニトリル、MMA、PMMAでの共同事業化検討につき基本合意。(2月)



## 事業別差異分析

	05/3(a)		06/3(b)		差異(b-a)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
建築請負(A)	3,107		3,194		87	
分譲(B)	201		336		135	
小計(A+B=C)	3,308	239	3,530	231	222	-8
住宅周辺他(D)	450	17	515	39	65	22
合計(C+D)	3,758	256	4,045	270	288	14

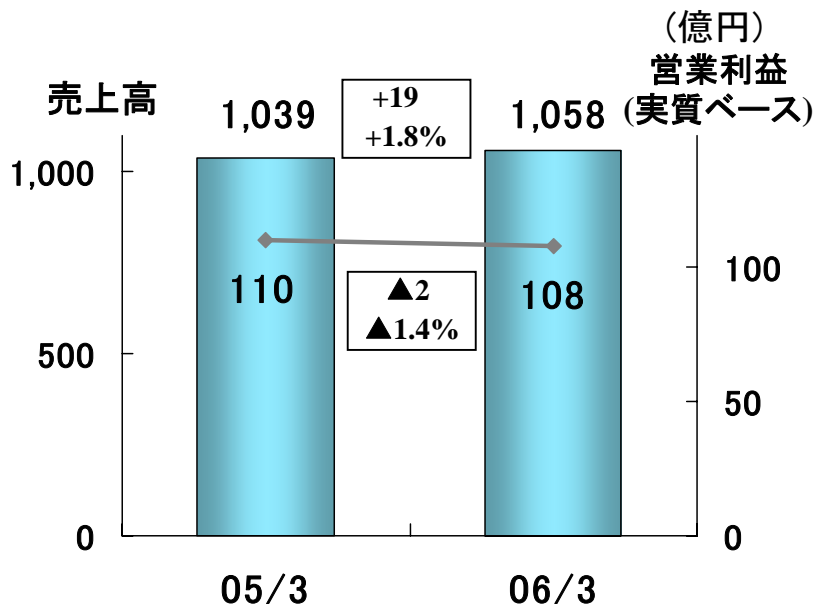
※上記事業別業績数値は参考情報として簡便計算で算出したものです。

## <概況>

- ・建築請負事業の販売単価の上昇、マンション建替え事業を中心とした分譲事業や住宅周辺事業の伸長などにより、前期比増収、増益となった。
- ・建築請負事業の受注は建替え需要の掘り起こしに注力し、前期比+3.8%となった。
- ・**建築請負・分譲事業**  
マンション建替え事業での大型物件竣工や、建築請負事業の販売単価の上昇により前期比増収となったが、資材価格高騰や施工革新に伴う先行投資の影響を受け、前期比減益となった。
- ・**住宅周辺事業**(リフォーム、不動産など)  
賃貸管理戸数の増加、既存物件のリフレッシュ工事が好調だったことから、前期比増益となった。

## <トピックス>

- ・新商品の上市
  - 「ヘーベルハウス™ロングライフ二世帯住宅」(4月)
  - 重層長屋形式二階建賃貸住宅「ヘーベルメゾン™コートヴィラ」(9月)
- ・前払い地代方式による定期借地権を利用した賃貸住宅事業「土地活用30年一括借り上げシステム」提供の開始。(2月)



## <概況>

医薬品の伸長と人工腎臓拡販により増収となったが、人工腎臓設備増強による償却負担増などにより、営業利益はほぼ前期並となった。

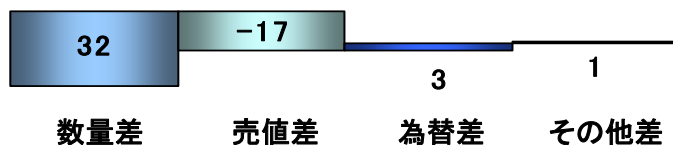
### ・医薬事業

排尿障害治療薬「フリバス<sup>TM</sup>」、抗うつ薬「トレドミン<sup>TM</sup>」の売上増や固定費の減少などにより、前期比増益となった。

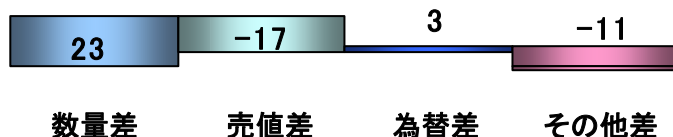
### ・医療事業

ポリスルホン膜人工腎臓「APS<sup>TM</sup>」の生産設備増強などにより、販売量は国内・海外共に拡大したが、設備増強による償却負担増などにより、前期比減益となった。

### 売上高増減分析



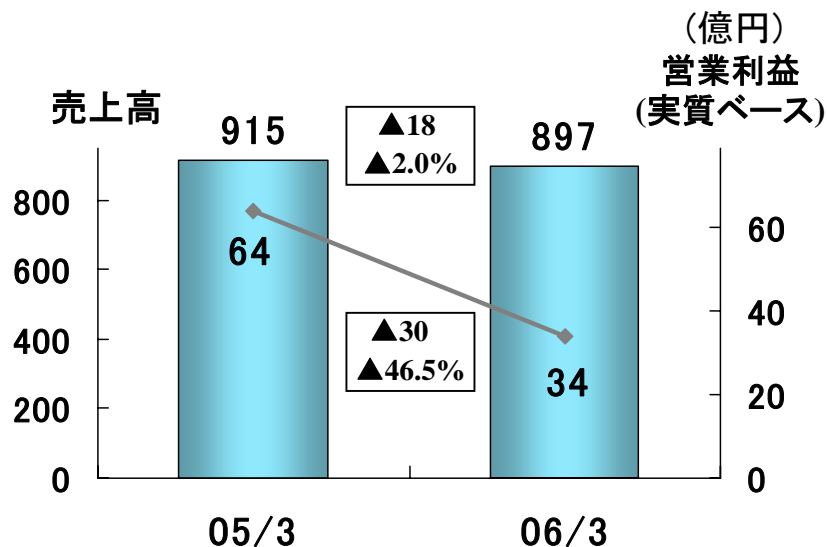
### 営業利益増減分析



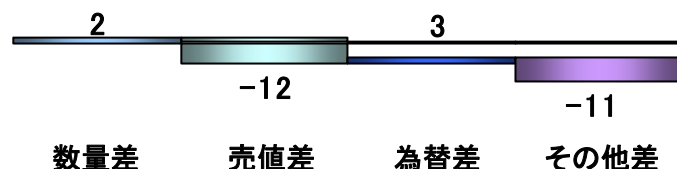
## <トピックス>

- ・構造改善推進のため、神島医薬工場(静岡県)を名古屋医薬工場(愛知県)に統合することを決定。(6月)
- ・ノバルティスファーマ(株)の非ステロイド性鎮痛消炎剤「ボルタレン<sup>TM</sup>」の共同プロモーション開始。(6月)
- ・ポリスルホン膜人工腎臓紡糸製造設備の増強。(4、10月)
- ・中国での組立工場新設。(11月)
- ・ローキナーゼ阻害剤「エリル<sup>TM</sup>」の中国での販売促進活動をエーザイ(株)に委託。(3月)

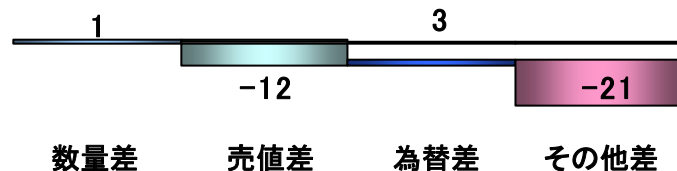




## 売上高増減分析



## 営業利益増減分析



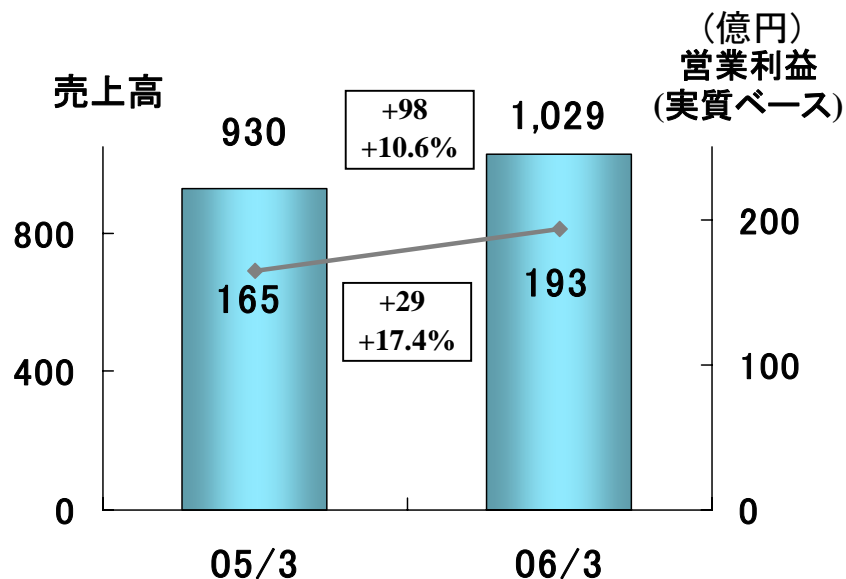
## <概況>

セルロース繊維「ベンベルグ<sup>TM</sup>」は海外向け販売が好調に推移したが、原燃料価格の高騰、ポリウレタン弾性繊維「ロイカ<sup>TM</sup>」の競合激化による販売価格下落の影響を受け、前期比減収、減益になった。

- ・ポリウレタン弾性繊維「ロイカ<sup>TM</sup>」は原燃料価格高騰に加えて、競合激化による販売価格下落の影響を受け、前期比減益となった。
- ・セルロース繊維「ベンベルグ<sup>TM</sup>」は海外向け販売が好調に推移し、前期比増益となった。
- ・合繊長繊維不織布「エルタス<sup>TM</sup>」などの不織布事業は、紙オムツ向けなどに販売量は伸びたが、原燃料価格高騰の影響を強く受け、前期比減益となった。

## <トピックス>

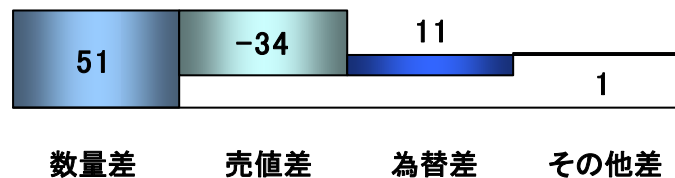
- ・ドイツのランクセスグループからのスパンデックス事業の譲り受け。(3月)



売上高増減分析



営業利益増減分析



## <概況>

電子部品、電子材料共に好調な需要を背景に販売量を伸ばし、前期比増収、増益となった。

### ・電子部品事業

携帯電話やDVDレコーダーなどのIT機器やデジタル家電用途での好調な需要を背景に、前期比増益となった。

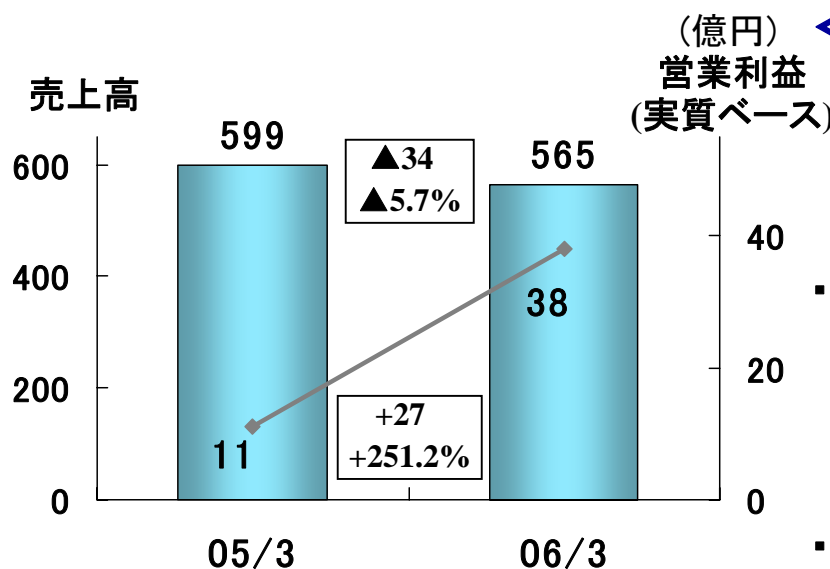
### ・電子材料事業

中国工場の生産設備の増強を行ったプリント配線基板用ドライフィルムレジスト「サンフォート™」などを中心とした拡販により、前期比増益となった。

## <トピックス>

- ・大型液晶パネル用防塵保護膜ペリクル第2系列増設、商業生産開始。(5月)
- ・高精度非接触回転角センサのサンプル出荷開始。(11月)
- ・携帯電話のGPS歩行者ナビゲーション機能に使用される世界最小・最薄サイズの6軸電子コンパスを開発。(3月)

## <概況>



大型軽量気泡コンクリートパネル「グランデ™」の販売終了(05年3月)と既製コンクリートパイルの受注減により前期比減収となったが、建築・住宅資材事業の堅調な販売などにより、前期比増益となった。

### ・建築・住宅資材事業

軽量気泡コンクリート「ヘーベル™」は大型商業店舗や工場の新設増などにより堅調に推移し、「ヘーベル™ パワーボード」も新規開拓で拡販し、コスト削減にも努めた結果、前期比増益となった。

### ・断熱材事業

高機能断熱材「ネオマ™ フォーム」が、木造戸建住宅建設の低迷と原燃料高騰の影響を受け、前期比減益となった。

### ・パイル事業

既製コンクリートパイルが減収となったものの、中小規模建築向けパイルの新規市場開拓に努め、前期比増益となった。

## <トピックス>

・繊維強化セメント屋根材「ナノルーフ™」本格販売開始。(11月)

・現場溶接が不要な角形鋼管柱継手工法「イーカプラ™」販売開始。(1月)

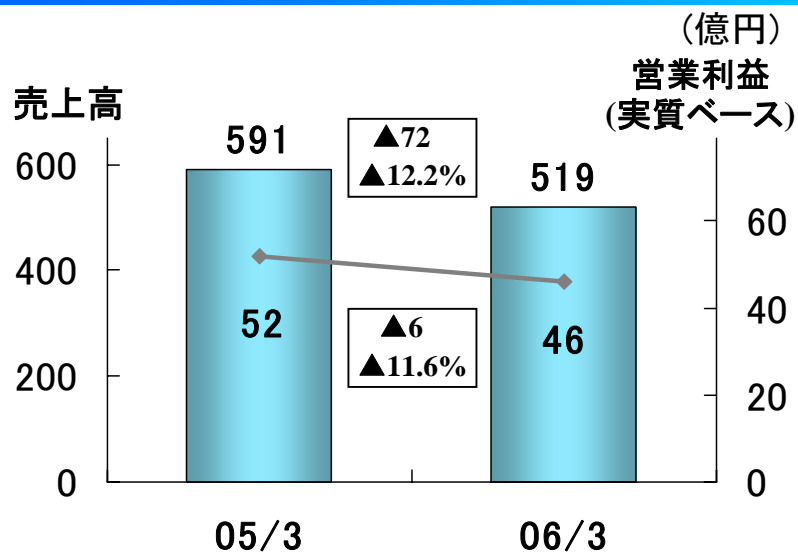
### 売上高増減分析



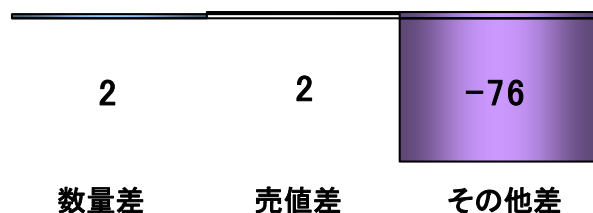
### 営業利益増減分析



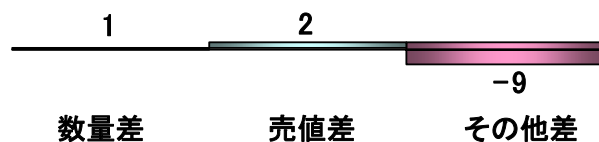
# ライフ&リビング概況



## 売上高増減分析



## 営業利益増減分析



## <概況>

大日本インキ化学工業(株)との合併会社であるサンディック(株)に二軸延伸ポリスチレンシート事業を移管したため、前期比減収となり、パッケージング事業が原燃料価格高騰の影響を強く受けたことなどから、前期比減益となった。

### ・ホームプロダクツ事業

原燃料価格高騰の影響を受けたが、「サランラップ<sup>TM</sup>」の販売が順調に推移したことや、「サラン<sup>TM</sup>繊維」の輸出量が増加し、業績は堅調に推移した。

### ・パッケージング事業

原燃料価格高騰の影響を強く受け、市況改善に努めたが、前期比減益となった。

## <トピックス>

- ・食品保存用品「ジップロック<sup>TM</sup>」の新シリーズ、フタの密閉性に優れる「ジップロック<sup>TM</sup> スクリューロック」販売開始。(3月)

# セグメント別設備投資額、減価償却費、研究開発費 **AsahiKASEI**

(億円)

	設備投資額			減価償却費			研究開発費		
	05/3	06/3	07/3(予)	05/3	06/3	07/3(予)	05/3	06/3	07/3(予)
ケミカルズ <sup>注)</sup>	251	266		316	313		148	148	
ホームズ	34	36		23	24		14	15	
ファーマ	83	49		64	64		142	135	
せんい <sup>注)</sup>	49	54		52	53		20	21	
エレクトロニクス	164	150		133	121		85	97	
建材	22	23		38	31		9	8	
ライフ&リビング	43	47		45	44		21	25	
サービス・エンジニアリング等	14	10		12	7		1	1	
消去又は全社	24	28		33	37		67	65	
合計	685	663	810	715	694	745	507	515	560

注) ケミカルズ及びせんいの05年3月期の設備投資額等は、05年4月よりレオナ繊維事業を旭化成せんいから旭化成ケミカルズへ移管したことに伴い、当該事業の設備投資額等を組み替えた後の金額。

## <05年度完工件名>

- ①大型ペリクル製造設備能力増強  
(04/5~05/5 延岡)
- ②キュプラ不織布「ベンリーゼ™」製造設備能力増強  
(05/6 延岡)
- ③(旭化成メディカル)  
ポリスルホン膜人工腎臓「APS™」紡糸工場製造設備能力増強  
(04/4~05/10 約600万束/年、トータル2,000万束/年 延岡)
- ④(旭化成医療機器(杭州))  
ポリスルホン膜人工腎臓「APS™」組立工場新設  
(04/3~05/11 約360万本/年)
- ⑤精密ろ過膜「マイクロザ™」製造設備能力増強(05/4~11 1万本/年、トータル3万本/年 富士)
- ⑥新プロピレン製造設備(オメガプロセス)の新設  
(04/11~06/3 5万t/年 水島)
- ⑦アルファプラント増強によるベンゼン生産能力増強。(05/5~06/3 3万t/年 水島)

## <05年度末時点 工事中件名>

- ⑧リチウムイオン2次電池用の微多孔膜「ハイポア™」製造設備能力増強  
(05/4~06/8 3,600万㎡/年増設 守山)
- ⑨精密ろ過膜「マイクロザ™」組立製造設備新設  
(05/12~06/8 3万本/年 中国(杭州))
- ⑩(旭化成マイクロシステム)  
LSI製造設備能力増強  
(05/12~06/7 延岡)
- ⑪(旭化成マイクロシステム)  
微細プロセス設備投資  
(05/3~06/7 延岡)
- ⑫(韓国デラグラス)  
拡散板生産設備新設  
(06/1~06/9 4,000t/年 韓国)
- ⑬(東西石油化学)  
プロパン法アクリロニトリル製造プロセス導入  
(05/08~06/12 韓国)

# 主要関係会社概況

会 社 名	06/3実績				07/3予想			
	売上高		営業利益		売上高		営業利益	
		前同比		前同比	前同比		前同比	
旭化成メディカル	401	増収	黒字	減益	増収	黒字	増益	
旭化成マイクロシステム	524	増収	黒字	増益	増収	黒字	増益	
旭化成電子*	100~150	増収	黒字	増益	増収	黒字	増益	
旭シュエーベル	100~150	横ばい	黒字	減益	増収	黒字	増益	

○ 印：売上高(増減10億円以上)、利益(損益額10億円以上または増減10億円以上)

\* 旭化成電子は、05年4月よりペリクル事業を旭化成エレクトロニクスへ移管したことに伴い、当該事業の04年度売上高などを組み替えた後の金額を元に計算。

## 旭化成メディカル

(06年3月期実績) 国内・海外共に拡販し前期比増収となったものの、ポリスルホン膜人工腎臓「APS<sup>TM</sup>」の設備増強による償却負担増などにより、前期比減益となった。

(07年3月期予想) コストダウン、海外向け拡販などを図り、増収、増益を目指す。

## 旭化成マイクロシステム

(06年3月期実績) 携帯電話、DVDレコーダー向けなどの好調な需要を背景に、前期比増収、増益となった。

(07年3月期予想) 新製品開発、新市場開拓の推進、海外への拡販を図り、増収、増益を目指す。

## 旭化成電子

(06年3月期実績) パソコン向けなど一部モーターでのセンサレス化の影響を受けたが、携帯電話開閉スイッチなどの新規領域向けが好調に推移し、前期比増収、増益となった。

(07年3月期予想) 新規領域、車載領域向けへの拡販を図り、増収、増益を目指す。

## 旭シュエーベル(含む、旭シュエーベル台湾)

(06年3月期実績) 国内は高付加価値品へのシフトにより増益となったが、海外市況の陥没価格の是正が進まず、前期比減益となった。

(07年3月期予想) コストダウンの徹底、差別化戦略の一層の推進により、増収、増益を目指す。

## 1. ファーマセグメントの売上

(単位: 億円)

	05/3			06/3		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間
医薬	238	242	479	247	238	485
その他	70	67	136	76	51	127
(単 独 計)	308	308	616	322	289	611
旭化成メディカル	194	182	376	190	210	401
その他	26	22	48	24	22	46
(連 結 計)	528	512	1,039	537	522	1,058

### <主要医薬品の国内売上>

(単位: 億円)

	05/3			06/3		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間
エルシトニン™	84	77	161	82	71	152
ブレディニン™	32	31	63	31	30	61
フリバス™	39	41	80	45	46	91
トレドミン™	27	30	57	31	31	62
エクサシン™	7	7	14	6	6	12
リカマイシン™	4	5	9	3	4	7
エ リ ル™	7	8	14	7	8	15



## 2. 製品説明

	一般名	薬効・作用の分類	適応症	剤型	共同開発会社
エルシトニン™注 20S エルシトニン™注 20Sディスポ	エルカトニン	骨粗鬆症治療剤	骨粗鬆症における疼痛	注射剤	—
ブレディニン™	ミゾリビン	免疫抑制剤	慢性関節リウマチ、腎移植、ネフローゼ症候群、ループス腎炎	錠剤	—
フリバス™	ナフトピジル	選択的 $\alpha$ 1ブロッカー	前立腺肥大に伴う排尿障害	錠剤	日本オルガノン
トレドミン™	塩酸ミルナシプラン	セロトニン・ノルアドレナリン再取込阻害剤(SNRI)	うつ病・うつ状態	錠剤	—
エクサシン™	硫酸イセパマイシン	アミノグリコシド系抗生物質	感染症	注射剤	シェリングプラウ
リカマイシン™	ロキタマイシン	マクロライド系抗生物質	感染症	錠剤・ドライシロップ	—
エリル™	塩酸ファスジル	ローキナーゼ阻害剤	くも膜下出血術後の脳血管れん縮及びこれに伴う脳虚血症状の改善	注射剤	—

## 3. 研究開発の状況

	品目	区分	剤名	適応症
申請準備中の品目	①ART-123注	新成分新薬	(抗血液凝固剤トロンボモジュリン)	DIC(播種性血管内血液凝固症候群)
フェーズⅢの品目	①AK-120錠	新成分新薬	(抗ウイルス剤)	帯状疱疹
	②AT-877注	適応拡大	(ローキナーゼ阻害剤)	急性期脳血栓症
	③PTH注	適応拡大	(副甲状腺ホルモン)	骨粗鬆症
フェーズⅡの品目	①AT-877錠	剤形追加	(ローキナーゼ阻害剤)	狭心症
	②KT-611錠	適応拡大	( $\alpha$ 1ブロッカー)	神経因性膀胱
フェーズⅡ(海外)の品目	①ART-123注	新成分新薬	(抗血液凝固剤トロンボモジュリン)	DVT(深部静脈血栓症)

探索・基礎研究 世界に通用する新薬の創製を目指し、創薬基盤技術を拡充・整備しつつ、整形領域疾患にフォーカスを当てた新規物質の探索研究を鋭意行っている。

## 1. 売上高、受注高の状況

(単位:億円、( )内は対前年同期比)

		請負売上高	分譲売上高	他*	単独計	関係会社等	連結計	請負受注高	受注残
01	上期	1,447 (▲1.8%)	75 (▲19.4%)	-	1,523 (▲2.7%)	174 (12.3%)	1,697 (▲1.4%)	1,417 (▲9.3%)	2,695
	下期	1,449 (▲13.0%)	90 (▲13.5%)	-	1,539 (▲13.1%)	189 (12.5%)	1,728 (▲10.8%)	1,313 (▲8.4%)	2,559
	通期	2,896 (▲7.7%)	165 (▲16.2%)	-	3,062 (▲8.2%)	363 (12.4%)	3,425 (▲6.4%)	2,730 (▲8.9%)	
02	上期	1,219 (▲15.8%)	65 (▲13.3%)	-	1,284 (▲15.7%)	196 (12.6%)	1,480 (▲12.8%)	1,393 (▲1.7%)	2,733
	下期	1,414 (▲2.4%)	102 (13.3%)	-	1,516 (▲1.5%)	210 (11.1%)	1,726 (▲0.1%)	1,500 (14.2%)	2,820
	通期	2,633 (▲9.1%)	167 (1.2%)	-	2,800 (▲8.6%)	406 (11.8%)	3,206 (▲6.4%)	2,893 (6.0%)	
03	上期	1,212 (▲0.6%)	53 (▲18.5%)	5	1,269 (▲1.3%)	209 (6.6%)	1,478 (▲0.1%)	1,614 (15.9%)	3,222
	下期	1,599 (13.1%)	308 (200.9%)	6	1,912 (26.0%)	223 (6.2%)	2,135 (23.7%)	1,567 (4.5%)	3,190
	通期	2,811 (6.8%)	360 (117.0%)	11	3,182 (13.5%)	431 (6.2%)	3,613 (12.7%)	3,181 (9.9%)	
04	上期	1,389 (14.6%)	66 (25.3%)	5	1,460 (15.0%)	213 (1.9%)	1,673 (13.2%)	1,531 (▲5.2%)	3,332
	下期	1,719 (7.5%)	136 (▲55.9%)	6	1,860 (▲2.8%)	225 (0.9%)	2,085 (▲2.3%)	1,487 (▲5.1%)	3,101
	通期	3,107 (10.6%)	201 (▲44.1%)	11	3,320 (4.3%)	438 (1.6%)	3,758 (4.0%)	3,018 (▲5.1%)	
05	上期	1,402 (0.9%)	205 (213.0%)	4	1,611 (10.4%)	243 (14.1%)	1,853 (10.8%)	1,504 (▲1.7%)	3,204
	下期	1,793 (4.3%)	131 (▲3.6%)	6	1,930 (3.8%)	261 (16.0%)	2,192 (5.1%)	1,629 (9.5%)	3,040
	通期	3,194 (2.8%)	336 (67.0%)	11	3,541 (6.7%)	504 (15.1%)	4,045 (7.7%)	3,133 (3.8%)	
06予	通期	3,325 (4.1%)	256 (▲23.9%)	9	3,590 (1.4%)	560 (11.1%)	4,150 (2.6%)	3,290 (5.0%)	3,005

\* 他: 損害保険販売手数料収入等

## 2. 2006年3月期用途別売上高・売上戸数及び受注高・受注戸数(受注は請負のみ)

(右欄:前年比)

		売上高(億円)		売上戸数(戸)		受注高(億円)		受注戸数(戸)	
戸 建	低層	1,983	5.4%	7,919	2.9%	2,009	9.4%	7,818	5.2%
	中層	897	-3.0%	3,677	-11.5%	796	-7.4%	3,053	-16.2%
	小計	2,880	2.6%	11,596	-2.2%	2,805	4.0%	10,871	-1.9%
集 合 系	低層	118	-10.5%	1,168	-15.1%	116	-12.7%	1,227	-3.2%
	中層	197	15.7%	1,938	18.4%	212	12.6%	2,197	22.4%
	小計	315	4.3%	3,106	3.1%	328	2.2%	3,424	11.8%
合計		3,194	2.8%	14,702	-1.1%	3,133	3.8%	14,295	1.1%
分譲事業等		336	67.0%	967	50.2%	-	-	-	-
他*		11	-1.8%	-	-	-	-	-	-
合計		3,541	6.7%	15,669	1.0%	3,133	3.8%	14,295	1.1%
関係会社等		504	15.1%	-	-	-	-	-	-
総合計		4,045	7.7%	15,669	1.0%	3,133	3.8%	14,295	1.1%

\* 他: 損害保険販売手数料収入等

## 3. 2007年3月期用途別売上高・売上戸数及び受注高・受注戸数予想(受注は請負のみ)

(右欄:前年比)

		売上高(億円)		売上戸数(戸)		受注高(億円)		受注戸数(戸)	
戸 建	低層	2,141	8.0%	8,130	2.7%	2,106	4.8%	7,880	0.8%
	中層	834	-7.0%	3,190	-13.2%	843	5.9%	3,160	3.5%
	小計	2,975	3.3%	11,320	-2.4%	2,950	5.2%	11,040	1.6%
集 合 系	低層	130	10.2%	1,430	22.4%	113	-2.6%	1,230	0.2%
	中層	220	11.7%	2,250	16.1%	227	7.1%	2,500	13.8%
	小計	350	11.1%	3,680	18.5%	340	3.7%	3,730	8.9%
合計		3,325	4.1%	15,000	2.0%	3,290	5.0%	14,770	3.3%
分譲事業等		256	-23.9%	760	-21.4%	-	-	-	-
他*		9	-13.9%	-	-	-	-	-	-
合計		3,590	1.4%	15,760	0.6%	3,290	5.0%	14,770	3.3%
関係会社等		560	11.1%	-	-	-	-	-	-
総合計		4,150	2.6%	15,760	0.6%	3,290	5.0%	14,770	3.3%

\* 他: 損害保険販売手数料収入等

## 4. 関係会社損益

(億円)

	05/3		06/3	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
旭化成リフォーム	210	4	222	18
旭化成不動産	227	12	264	15

### <概況>

#### 旭化成リフォーム

(06年3月期実績)

前々期に実施した業務構造見直しにより利益の出る体質となったことに加え、リフレッシュ工事需要が回復し、コスト改善も進展したことから、前期比増収、増益となった。

(07年3月期予想)

提案型営業の更なる強化、施工力の増強などを図り、増収、増益を目指す。

#### 旭化成不動産

(06年3月期実績)

賃貸営業部門・仲介営業部門・受託営業部門のいずれも順調に業績を伸ばし、前期比増収、増益となった。

(07年3月期予想)

前期の好調な集合の受注を背景に、増収、増益を目指す。

## 予想・見通しに関する注意事項

当資料に記載されている予想・見通しは、種々の前提に基づくものであり、将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。